

BIRTV2016 にて、パナソニックデータアーカイバー DH7 シリーズが製品応用賞を受賞

【BIRTVとは？】

BIRTV(Beijing International Radio, TV & Film Exhibition)は、中国北京市にて毎年8月に定期開催されている、アジア放送業界において最も影響力が高い展覧会です。

中国の市場成長に伴い、放送機器産業における新たなビジネスチャンスの創出、ビジネスモデル構築に繋がるイベントとして大きな注目を集めています。

最新の映像機器や技術が一堂に介する製品展示エリアは5万平方メートル規模、各国からの来場者数は500社以上、5万人規模にのぼり、グローバルのトップメーカーや投資家、技術者、ユーザー間で活発なコミュニケーションが生まれています。

【製品応用賞 受賞】

BIRTVでは、展示製品の中から専門家により優秀製品賞が選ばれ、同時開催されるサミットにて表彰、製品プレゼンの場が設けられています。パナソニックデータアーカイバー DH7 シリーズは、このBIRTV2016において「製品応用賞」を受賞しました。

近年のデジタル技術発展に伴い、放送業界においてはアナログデータのデジタル化、4K/8K放送技術が主流になりつつあります。また、映像解像度の増加により、取り扱うデータ量は指数関数的に増加しています。特に中国放送業界においては、今まで直面していなかったビッグデータのアーカイブ課題が表面化し始めています。

当業界においては、これまで磁気テープを主として貴重なデータが保存されてきましたが、テープメディアの特性により、「定期的なマイグレーション（データ移行）が不可欠」「保存中のデータ安全性の確認が困難」という課題が発生しています。

パナソニックはこの課題を解決でき、かつ低TCOが実現可能な光ストレージ技術を提供すべく、2015年以来、放送業界の実情に精通した中科大洋社(DAYANG)と連携し、新たなソリューションを提案。中国放送業界ストレージの進化、発展に貢献しています。



[製品特長]

パナソニックデータアーカイバー LB-DH7 シリーズは、高容量 300GB アーカイバルディスク技術を用いた、データの長期保存に最適なストレージライブラリです。

製品はモジュール設計を採用し、ボトムユニット、ベースユニット、ドライブ付き拡張ユニット、ドライブなし拡張ユニットの組み合わせにより構成されます。6U サイズの各ユニットには最大 76 マガジンが搭載可能です。マガジン一巻には 300GB のディスクを 12 枚内蔵することより、マガジンあたり 3.6TB の高容量を実現しています。ユーザーのデータ量に応じて、EIA 標準 19 インチラックにて 547.2~1900TB のライブラリ容量を実現。さらにラック拡張によるビッグデータへの対応も実現可能です。

アーカイバルディスクは、記録膜に酸化膜を採用することにより、データの劣化を防止。かつ、表面のカバーコート加工により、記録膜を安全に保護できます。また、光ディスク自身は他の記録媒体と比較しても機械的構造がなく、耐温湿度、耐電磁波、耐水性に優れており、長期保存需要に最適なメディアとなっています。30℃、湿度 70%の環境下での加速試験にて、100 年の寿命が期待でき、長期間の安全なデータ保存に適しています。

さらに、パナソニックはデータの安全性、記録/読出のパフォーマンスを確保すべく、RAID 構成、iVerify 技術を採用。ディスク 6 枚(12 面)にて RAID0,5,6 の構成が選択可能であり、お客様のニーズに合わせてデータ保存信頼性を高めています。iVerify 技術においては、1 ドライブシステム(ドライブ 3 台) 環境にて、記録/読出速度 360MB/s(RAID0 時)の高速処理を実現しています。

今回の受賞にあたっては、お客様の使いやすさを追求すべく、中国 MAM システムシェア第一位を誇る中科大洋社 (DAYANG) と共同システム開発を行い、放送業界向け新世代ソリューション提案を実現しました。新ソリューションにおいては、データベースを MAM システムより統一管理することにより、アーカイバーラック(ライブラリ)の拡張は、機器の接続のみで可能になっています。このことにより、拡張の際の手間を削減でき、かつコストの最適化が可能となります。

上位管理はアプリケーションサーバーより行いますので、効率よく、アーカイブクエストを振り分けることができます。加えてオンラインストレージからキャッシュなしで直接データアーカイバーに記録/読出を実現することにより、放送業界で最も活用されている、PtoP (Point to Point) のダウンロードで、必要な映像コンテンツのみをアーカイバーラックから取り出すことができます。

保存中のデータ安全性確認においては、ディスクをドライブに挿入し、15 分間でマガジンに保存されているデータの安全性が確認可能です。そのほか、テープライブラリから直接データアーカイバーへのデータ記録機能、書き込み済データの正確性を確保するための MD5(ハッシュ値)検証機能など、多くの応用機能を実装しています。

今後も、パナソニックは中国放送業界の進化を継続してサポートしてまいります。